

寝屋川民報

議会議版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jpcncc@ccnet.or.jp
No. 1964

田中 ひさ子
国松町 10-316
☎ 823-1714

寺本 とも子
豊里町 38-1-105
☎ 829-9424

中林 かずえ
宝町 4-33
☎ 839-2289

中谷 光夫
高宮 2-19-5
☎ 823-5947

松尾 信次
下木田町 12-6
☎ 821-7427

寝屋川市は廃プラ施設の 周辺住民の健康調査を行え

住民の健康被害の解消を 中谷光夫議員が一般質問

九月二日(金)、中谷光夫議員が一般質問で、廃プラ問題とありあげました。はじめに、「廃プラ処理による公害から健康と環境を守る会」の「廃プラウォッチングニュース」の二六号に掲載の住民の健康被害の訴えを紹介しました。

「昨年四月のイコール社の操業開始にとりなつて、五百メートル離れた我が家まで悪臭が漂い始め、最近の本格操業開始後は施設から一知付近まで悪臭が到達しています。私は、一月頃から咳と痰がひどくなり、夜も満足に眠れず、我慢できず病院でたくさん検査を行いましたが、原因がわかりません。

ん。五月に入り、施設周辺地域では「咳が出る」「目が痛い」「かゆい」「頭痛」「結膜炎」「喉が痛い」などの症状を訴える住民が増え続け、今では百名を超える勢いです。

：現状は極めて深刻な事態です。中谷議員は、公害とも言える健康被害の因果関係を明らかにする

特定業者の
特別扱いをやめよ

中谷議員は、東部リサイクル事業協同組合が府に提出した「決算関係書類提出書」から、平成十五年七月の臨時總會で、リサイクル・アンド・イコール社設立の二千五百万円の出資を決定していたことを示しました。

また、大阪東部リサイクル事業協同組合が市から業務委託されている廃プラ中間処理業者が、トータルで見れば、市が土地・建物・設備機械・電気・水道のすべてを無料で提供

ために、行政に対して、健康調査と、臭気指数(人の嗅覚で判定)による測定の実施、施設からの発生化学物質の測定調査を行うよう求めました。

環境部長は、行政の悪臭物質二二項目の測定の結果、規制基準値以下だったとして、健康被害への因果関係は

し、随意契約で業務を委託し続けている問題を指摘し、特別扱いをやめるよう求めました。

し、随意契約で業務を委託し続けている問題を指摘し、特別扱いをやめるよう求めました。

決算審査特別委員会

とき：10月16日～18日

ところ：午前10時～議会棟4階

傍聴におこしください

視界

十月、衣替
え、スポーツ
・行楽のシーズン到来です。ところが、浮かればかりはいられませんが、昨秋からの介護保険の負担増に加えて、医療の改悪で、一日から、療養病床の長期入院する七〇歳以上の高齢者の食費・居住費が自己負担に、さらに現役並み所得がある場合、窓口負担が二割から三割に、どちらも高齢者をねらった医療費負担増です。また、障害者自立支援法の本格実施で障害者ばかりでなく障害児まで契約制度への改定で多額の負担増。これらの制度改悪は、重症患者や介護度・障害程度が重ければ重いほど、多額の負担を強いるしくみです。「金の切れ目が命の切れ目」とはこのことでしょうか。本来、国が社会保険として責任を持つべき、高齢者や障害児者福祉にまで、お金がかかるしくみをつくった自民・公明党の責任は重大です。

▼九六歳の一人暮らしのご婦人は、一月四万円ほどの年金暮らし、足腰の痛みで通院しています。唯一、楽しみみのデイサービスが週一回に減りました。障害のあるNさんは「作業所やめて、お母さんがお金がかかるから作業所いかにでえつていうたから」と、つらい話です。▼国の悪政から市民を守るあたりまえの市政へ、きりかえることが切実に求められています。



自立支援法、寺本議員が一般質問 障害児・者の負担軽減を



寺本議員は、九月議会
会で障害者自立支援法
について、質問しまし
た。

初めに、四月からの
障害者自立支援法実施
が、利用者の大幅な負
担増で施設からの退所
やサービス利用の辞退
をまねき、また、施設
への報酬引き下げて、
施設運営が悪化してい
る実態を市はどう受け
とめているのか。質し

ました。
応益負担となったこ
とで、サービスの利用
抑制につながっている
こと。また、一〇月か
らの障害児施設で措置
から契約へと制度変更
や補装具等の一割負担
導入がさらに、負担増
を招き、早期教育や自
立への道を閉ざす事
になるとして、本市独自の
障害者の負担軽減策
をつくることを求めま
した。

さらに、相談支援・
移動支援・日常生活
具給付など、市が主体
的におこなう地域支援
事業については、①事
業の種類 内容、利用
料等事前に公表し当事
者の意見を聞くこと②

公民館 団体登録制の堅持を 中林議員が求める

中林議員は、中央公
民館について質問しま
した。

今年一月の社会教育
委員会会議で、「中央
公民館の今後あり方」
として、利用規定の変
更や有料化・指定管理

者制度の導入について
議論されている問題を
とりあげました。

その上で、公民館の
運営については、「今
後も①社会教育法に基
づく施設運営をおこな
うこと②社会教育団体



として認められた団体
登録制を堅持すること
③指定管理者制度及び
施設利用の有料化はお
こなわないこと」を
求めました。
市教委は、施設運営
のついて「社会教育活
動を支援していく施設
とする。指定管理者制
度導入は、市内公共施
設・近隣市の状況をふ
まえて十分検討する」と
と答弁しました。
中林議員は、国民健
康保険や再開発につい
ても質問しました。

みんなで後援会旅行へ 但馬の小京都 兵庫の出石へ

出石 街並み散策と
おいしい料理に地ビール 立ち杭焼き 陶器まつり

日曜：10月22日(日)
会費：6500円

参加申し込み・お問い合わせは
寝屋川市会議員団まで



これまで無料の事業は
継続すること③利用料
は市独自で軽減するこ
とを求めました。

市は、利用者の負担
増などの意見が寄せら
れていることを認めな
がら、「利用者負担軽
減策は、国が所得段階

上限の設定や社会福祉
減免などをおこなって
いる。地域生活支援事
業は一定の負担上限額
等の設定を検討してい
る。」と答弁しました。



議員日誌



寺本
とも子

9月議会がはじま
る頃は残暑厳しい中
でしたが、終わる頃
には、朝晩は涼しく
なり、彼岸花が咲い
ていました。
議会中は議案や質
問の準備で季節の移

り変わりを感じる余
裕さえなくなってい
ますが、市民の皆さ
んの思いを、しっか
り感じとり、市政へ
届けたいと思います。

(訂正)
寝屋川市民報NO1961「人権の名
でむだづかい不公正な同和行政温存」
の記事中「府人権協会に272万円
をはじめ375万円もの負担金」を
「府人権協会に272万円もの負担
金」に訂正します。